

在上海英商「ピットマン」氏本邦回銀ノ了英ニ硫酸輸
出等ノ了ニ付テ建言ノ譯文

謹自我等西人トモ長途無滞本月十八日本港ニ到着イタ
シ直様西人トモ品川總領事ヲ尋訪シ日本貨幣ノ了ニ関
シ尊意所望ノ段逐一安藤太郎氏ヨリ品川總領事ニ面談
相成リタリ

賤子亦タ其後直チニ当地ニアル東洋銀行ノ支配人「ロベ
ルトソン」氏ニ面會ヲ遂ケ種々談話ニ及ビタルニ同氏モ
来十一月下旬頃ニ至ラハ必ラス貴邦ニ渡航イタスベキ
了ニ至ル趣キニ相見ヘタリ

「ロベルトソン」氏賤子ニ云フヲ曰ク当地ノ銀行ニ於テ不日
副支配人一名更ニ命任ノ積リナレハ同氏ハ其後ノニ待

大蔵省



チ受ケ居ル丁ヲ賤子ヨリ閣下ニ報道セヨト依テ惟フニ
右ノ副支配人ステ命汪相成リタル上ハ何時ロベルトフ
ン氏カ貴邦ニ渡航スルモ妨ケナカルヘキナリ然レ氏目
今ニ於テハ殊ニ閣下カ同氏ノ貴邦ニ渡航スル丁ヲ要求
スルニアテサレハ右ノ副員之レナケレハ容易ニ上海ヲ
去ル丁相叶フコト
日本回銀ノ丁

ロベルトソン氏ト數刻面晤ノ際同氏ノ言ニ曰ク同氏ハ
閣下カ回銀ヲ代用セントスルノ時ニ當リテ軟近發行セ
レ日本貿易銀ノ布告ヲ取消シセカラン丁ヲカメテ忠告
スト

此際ニ當リ閣下ニ取リテ要用ナル所ノモノハ軟近發行
ノ布告文中ニ僅カニ二語ヲ追加スルニアル而已ニ語ト

ハ他ナレ即チ布告文中貿易銀ヲ内國一般ニ通用セシム
ル云々ノ下ニ「インド、インド、英ニ回銀ト云フ義」ナル二語ヲ
追加スルニアルナリ

斯ノ如ク為セハ軟近發行ノ布告ハ其文中貿易銀云々ノ
下ニ僅カニ「インド、インド」ナル二語ヲ追加スルヨリシテ良
善完美依然相保存スヘキナリ

且ツ又布告文中僅カニ右ノ二語ヲ加ヘタレハトテ何人
ノ之レヲ目視スルモ苟モ変更セシモノトナサ、ルヘシ
蓋シ此舉タル唯現今發行ノ布告文中ニ適宜相應ノ追加
ヲナセシモノト見ユルナラン

サテ又貿易銀英ニ回銀ノ兩貨幣トモ軟近ノ布告文中ニ
依然明示シ置クヘキ丁モ是レ亦至當ナルニ似タリ其然
ル所以ノモノハ他ナレ故令々貴國造幣局ニ於テハ最早

貿易銀ヲ鑄造セサルニモセヨ猶ホ且ツ支那ニ於テ不時
ノ要用起リ為メニ此等ノ両便ヲ一時殊ニ需求スルコト
ランモ亦タ量ルベカラズ然ル時ハ閣下ハ定メテ其需求
ニ應レズレバ供給スルヲ得一ケレハナリ
軟近閣下カ貿易銀ノ布告ヲ發行セシ時ニ當リテ其前ニ
發行セシ旧銀ノ布告ヲ取消セサリシモ亦タ此理由ヨリ
外テラス是レニ依テ今度閣下カ再々旧銀ヲ代用セント
スルニ當リテモ亦タ貿易銀ノ布告ヲ取消セサル方良策
ナラン
之レヨリ前キ千八百七十四年東洋銀行カ日本ノ旧銀ヲ
レテ香港ノ合法貨幣トナスヘキ旨ノ令ヲ發セシメシカ
為メニ其議ニ関涉セシ時ニ際シ同地ノ大辦事ナル者同
銀行ニ告テテ云ク同所鎮臺ハ如何ナルコトナルハ復タリ

氏其量目尺ニ性合トモメキレカンドルラル洋銀ニ均レ
キモノハ之レヲ合法貨幣ト定ムヘキ令ヲ發スルノ權ア
リト且ツ又云クメキレカンドルラルハ四百拾五「ゲレ」
ン「トロイ」百分ノ九十六ノ定量ノモノト思考セラルハナ
リト
是ニ依テ賤子ハ香港着ノ上直様同所鎮臺ハ此儀ヲ申入
レン「ゲレ」欲ス河トナレハ日本旧銀ノ如キハ其量目タル
四百拾六「ゲレ」ン「トロイ」ニレテ即チメキレカンドルラ
ルト同等同一ナレハナリ
且ツ夫レメキレカンドルラルト同等同一ナルカ故ニ却
テ彼ノ四百二十「ゲレ」ン「トロイ」ノ量目ナル貿易銀ヨリ
モ香港殖民地ノ法令ト符合スルトコロ一層近接ナリ
賤子亦タ当地ニアル香港上海銀行ノ支配人ト面談セシ

＝同人ニ目下ノ状況ニ依レバ實ニ日本四銀ハ南支那ニ於テ通貨トナスヘキ最良ノ貨幣タルコトニ付テ充分同意一致スル所トナレリ

硫酸ノコト

賤子渡清ノ際東京丸ニ乗組ニ神戸港ニ至ルコトヲ豊原氏ト同船ナリシヲ以テ船中談話ノ儀ニ依リ聊年見ヲ問陳シテ以テ硫酸ノコトニ付キ閣下ノ注目アランコトヲ希フ此賤子上海ニ在リシ日硫酸ノ趣旨ニ付キ品川氏ニ申入レシコトアリテ曰ク毎年支那人ト條約ヲ締結シ以テ貴國造幣局ニテ製造セル硫酸ヲ悉ク皆テ支那人ノ方ニ於テ引取リ日本ニ於テ其代價ヲ拂渡スヘキ旨ノ約定アラシコトヲ建議センコトアリ

然ルニ當時會マ西南ノ變アリ為メニ之レカ妨碍ヲ生セ

シ而已ナラス生憎賤子暫ク上海ニ在ラサリシヲ以テ今日ノ久シキニ至ルマテ賤子カ此策ノ再舉ヲ企ルヲ妨ケタリ

然ル處今豊原氏ヨリ聞ク所ニ依レハ既ニ巨額ノ費用ヲ出シテ硫酸ヲ支那ヘ輸送シ且ツ其上五分ノ口錢ヲモ外國賣商ニ拂フ所トナルト

萬一左ノ建議ヲ閣下ノ承諾舉行スル所トナラハ斯ノ如キ巨額ノ費用ト口錢ヲ貴國造幣局ノ忽チ者減シ得ル所トナルヤ必セリ矣

第一條

硫酸悉皆供給ノ為メ先ツ壹ケ年間ノ條約ヲ締結スルコトヲ望ミニ依レハ尚ホ十二ケ月間ノ條約ヲ再結スルノ權ヲ有スルコト

第二條

硫酸引渡シ方ハ神戸港ニ於テ取計フヘキト但シ右代價ハ造幣局ニ於テ定ムル所ノ相場ヲ以テ引渡シ濟ノ上拂渡スヘキト

第三條

輸出税ハ支那約定人ヨリ拂フヘキト

第四條

手附金ハ造幣局ニ於テ要求スル高ニ應シ條約調印ノ上東洋銀行ニ預ケシムルト

第五條

條約施行ノ時日ハ何時ニテモ造幣局ニ於テ確定スル日ヨリ始マルト

以上開陳セシ建議ノ件々ハ前キニ支那人ヨリ差出セシ

建議中ニ就キ重モナル箇條ヲ摘載センモノナリ

右建議ノ件々萬一閣下ノ許允スル所トナリ在香港領事安藤太郎氏一其音閣下ヨリ報道セラル、アラハ賤子ハ直チニ其手續ニ取掛リ確定ノ申立ヲ大坂造幣局長ニ差出スヘキ様取計フベシ

豊原氏ノ言ニ依レハ昨年十二月間ニアリテ支那一輸送セシ硫酸ハ大約壹千噸ニ及ホセリト然ルニ今賤子カ建議スル所ノ處置ヲ施セハ暫ク之レヲ概算スルニ諸雜費海關税等ニ口錢而已ニテ既ニ貳萬トタルノ金額ヲ造幣局ノ省減スル所トナラン此ノ外猶ホ金利ノ減省モ之レアルニシ何トナレハ造幣局ニ於テハ硫酸ヲ製出スルヤ否ヤ其全價ノ拂ヲ得一ケレハナリ
此支那地方ニ於テハ現ニ人心動搖ノ色アリ又「タクト天

○機械の若し之レヲ
自他ノ使用ニ供スル

津ノ門ニ電線架設ノ了ハ實該ナルカ如シ
亦卷該ニ依レハ招商局ノ汽船ヲシテ官有ノ穀物ヲ一層
神速ニ運搬セシメンカ為メニ「タクト」天津ノ門ニ鐵路ヲ
開設スルノ見込アリト然リト雖氏賤子大ニ疑ヲ懷ク
トコロアリテ此該ヲ信スルアタハス
直隸ノ礦山ヨリ天津ニ至ルマテ運送車路開設ノ用ニ供
スル木材等既ニ上海ニ到着セリ然レ氏直隸ノ石炭山々
ル其炭層ノ廣狹其外ニ付テ判然決定スルカ為メニ未々
曾テ初登ノ掘鑿ヲモ試ニサリシ了ヲ思慮スルハ此用
ニ供スルニアラサレハ實ニ無用ノ贅物ニ屬シ隨フテ亦
タ毀損ヲ生スルヤ明了ナリ矣
且フ又支那人ハ嘗テ其造兵司創造ノ際ニ當リ誤謬失錯
ヲナセシ了アリシカ今マ亦其石炭山ノ了ニ付テモ同様

ノ失錯ヲ為シ未タ機械ヲ使用スルノ求メアラサルニ當
リテ徒ラニ之レカ為メニ巨額ノ金ヲ費スナリ
目下ノ形况夫レ斯ノ如シト雖氏兎ニ角支那ニ於テハ多
少遠謀ノ企アルヤ必セリ矣其然ル所以ノモノハ他ナシ
「ロベルトソン」氏賤子ニ告ケテ曰ク去三ヶ日間以内ニ李
鴻章ヨリ五拾萬「テ」ヲ添テ天津ヨリ当地マテ軍艦壹
艘ヲ送り或ル企テアルカ為メニ之レヲ東洋銀行ニ預ケ
タリト
香港上海銀行ト結約セシ「賴廷暮集」ノ公債ハ未ダ中絶ノ
姿ニ屬シ若シ右ノ公債証券出来ナラサルキハ十月二十
六日ニ七萬五千「テ」ノ手附金ヲ没入セラル「ア」ラン
安藤領事ハ佛國郵船ニテ明後日香港一向ケ出帆ノ積リ
ニ付キ賤子モ同伴ノ心得ナリ謹言

千八百七十八年

在上海

八月二十一日

「チヨンポットマン」

参議兼大藏卿

大隈公閣下

二伸

去五月二十七日發行ノ貿易銀布告文中ニ以上開陳セ
シカ如ク僅少ノ変更ヲ加ヒテ以テ宜シク左ノ如クナ
スベシ

此等貿易銀布ニ四銀ハ海陸税其他外國人ヨリ納ム
ル諸税及ヒ日本人外國人ト通商ノ取引ニ用ヒ又コ
レヲ内地ノ諸税納方等其他公私一般ノ拂方ニモ用
ヒ其高ニ制限アルコトナシ

チヨンポットマン